

## 山形県の古木・名木 No.60

# 尾上のマツ (おのうえのまつ)

村山市大字本飯田5

最上家隆昌の頃から羽州街道のかたわらに、端正な姿で人目をひいたこの尾上のマツは、樹齢品格においても、まさにその名にふさわしい名木で、昭和34年11月5日に村山市指定天然記念物に指定されている。

樹齢は、約六百年といわれ、樹囲目通り3.45m、根囲3.85m、樹高20mである。尾上のマツは、かさ状で枝が四方に垂れ、いかにも老松らしく枝端は地面に届こうとしている。  
〔山形県森林協会〕

(案内略図)



**お願い**  
近くに村山市指定天然記念物の尾上のマツがあります。樹齢は約六百年です。文化財保護のため駐車中はエンジンをかけたままにしないでください。  
村山市教育委員会  
尾上のマツ保存会

**尾上のマツ**  
最上家隆昌の頃から羽州街道のかたわらに、端正な姿で人目をひいたこの尾上のマツは、樹齢品格においても、まさにその名にふさわしい名木である。もと相生マツとして雌雄二株であったが、雌株が大正十二年の雪で折れ、枯れてしまった。尾上のマツは、かさ状で枝が四方に垂れ、いかにも老松らしく、枝端は地面に届こうとしている。樹齢は約六〇〇年といわれ、黒沼松五郎氏が昭和十二年に雌株の年輪をかぞえて推定したものである。雌株の節目として、本飯田の安達仁吉氏が大正十二年四月、有志の人たちと植えたマツは、現在樹囲一七・五m、樹高一〇mになっている。  
樹囲目三・四五m、樹高二〇m、樹冠一〇m  
(昭和三十四年十一月五日、市天然記念物指定)  
村山市教育委員会

【森林やまがた84号(2004年3月)記載】